

● 島根県建設技術センター研修

島根県 松江市 研修 講師

概要	市町村が管理する道路施設等の老朽化対策の一環として、市町村の土木技術職員の技術力向上を図る為の研修にて、講師をつとめている。
主催	(公財) 島根県建設技術センター
後援	島根県土木施工管理技士会
場所	島根県松江市 くにびきメッセ
開催日時	毎年5月頃
参加者	県・市町村、公社・事業団、建設業、建設コンサルタント職員
講師	土木保全部、道路ソリューション事業部 広島保全技術事務所、調査設計部 他
内容	『道路施設の維持管理』 道路附属物の維持管理……点検における着目点、損傷事例 橋梁の維持管理……点検から補修の流れ、点検の留意点、鋼部材の変状 舗装の維持管理……損傷・点検・補修事例、舗装点検要領のポイント トンネルの維持管理……点検から補修の流れ、損傷事例 斜面・のり面の維持管理……災害の形態と原因、中国地方の地形と地質

<実施の様子>



● 鳥取県建設技術センター研修

鳥取県 倉吉市 研修 講師

概要	土木構造物の維持補修と補強工法選定等の知識を習得する。
主催	公益財団法人 鳥取県建設技術センター
場所	鳥取県倉吉市 建設情報プラザ
開催日時	毎年6月頃
参加者	県・市町村、公社・事業団、建設業、建設コンサルタント職員
講師	施設保全部、広島保全技術事務所、道路技術部 他
内容	『舗装の維持管理』 ・ 損傷、点検、維持・補修の事例 ・ 舗装点検要領（国交省）制定に関するポイント 『道路附属物の維持管理』 ・ 道路付属物の維持管理について……点検における着目点と損傷事例 『トンネルの維持管理』 ・ トンネル内設備の点検について……損傷、点検、維持・補修の事例 ・ トンネルの土木定期点検について……点検における着目点、損傷事例 ・ トンネルの変状対策 調査補修について……災害の形態と原因

<実施の様子>

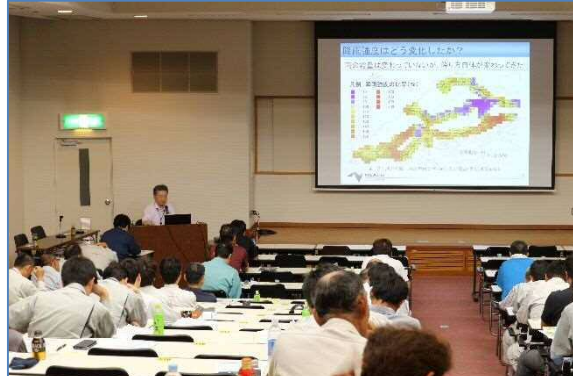


● 鳥取県建設技術センター研修

鳥取県 倉吉市 研修 講師

概要	豪雨災害や地震による土砂災害等が発生している中、のり面および斜面の維持管理に焦点をあてた研修を実施する
主催	公益財団法人 鳥取県建設技術センター
場所	鳥取県倉吉市 建設情報プラザ
開催日時	令和元年8月
参加者	県・市町村、公社・事業団、建設業、建設コンサルタント職員
対象	中級～上級（経験年数10年～20年以上程度）
講師	調査設計部
内容	『のり面の維持管理』 ・地質と地形及び土の基本的性質 ・斜面の不安定モデルとのり面設計の概念 ・土質調査と土質試験の概論 ・維持管理と災害対応 ※昨年まで他の点検と合わせて実施していた内容を、今期から主催の要望で「のり面・斜面」の分野の内容をより深くした単独での講習会となった

＜実施の様子＞



● 広島県東部建設事務所 橋梁点検現地講習会

広島県 福山市 2017 研修 講師

概要	広島県東部地区の技術担当職員等を対象として、技術者の視野の拡大、知識の習得及び総合的な建設技術の向上を目的とする。
主催	広島県東部建設事務所
場所	≪ 講 義 ≫ 東部建設事務所 会議室 ≪ 現地講習 ≫ 県道柞磨駅家線山守橋（福山市駅家町上山守）
開催日時	平成 29 年 9 月 13 日（水） 13 時～16 時
参加者	広島県東部建設事務所、福山市、府中市、神石高原町 等の職員（39名）
講師	土木保全部、広島保全技術事務所、三次保全技術事務所 講義及び現場実習の講師を担当
内容	『橋梁の維持管理について』……点検から補修の流れ、点検の留意点 『橋梁点検実習』……山守橋にて橋梁点検の現場実習

<実施の様子>



● 橋梁点検現地研修会

岡山県 倉敷市 2017 講師

概 要	橋梁構造物の点検・補修等に関する保全技術の向上を図る。
場 所	倉敷市 玉島乙島 玉島大橋 アーチ橋（現場）
開催日時	平成 29年9月4日（水）10時00分～12時00分
参加者	岡山県職員を対象（11名）
講師	土木保全部、岡山保全技術事務所
内 容	構造形式：アーチ橋（ランガー橋下路構造）と鋼鈹桁橋 構造物点検の概要と点検項目・着目点。 現場での点検実習では、遠望目視点検としての構造解説講義と、 大型橋梁点検車を用いた、近接目視点検を想定した点検時の注意事項等を実際に橋梁点検車に乗って実習する。

<実施の様子>



● 橋梁点検現地研修会

岡山県 高梁市 2017 講師

概要	橋梁の維持管理における点検方法、注意事項等の基礎知識及び技術力の向上を目的として実施するもの。
共催	無し
場所	高梁市上谷町 愛宕ループ橋（現場）
開催日時	平成29年8月9日（水）13時30分～
参加者	岡山県職員を対象（15名）
講師	土木保全部、岡山保全技術事務所
内容	当社で保有している大型橋梁点検車（BT400）、橋梁点検車（BT110）、高所作業者（12m級）を用いて、近接目視点検を想定した点検時の注意事項等を実際の現場点検の中で実習する。

<実施の様子>

